

団体名		令和8年度に取組予定又は呼びかけ予定の活動や事業				
		グリーン化	脱炭素社会	循環型社会	自然共生・ワンヘルス	快適生活環境の形成
1	子ども会育成連合会	・裏紙、両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減やペーパーレス化の推進 ・電気のコマメな消灯、エアコンの設定温度、クールビズやウォームビズなど省エネのソフト対策	・熱中症への対策やハザードマップの確認などの気候変動適応策の推進	・マイバッグ・マイボトルの持参や過剰包装の削減などの廃棄物発生抑制 ・ごみの分別徹底やポイ捨ての撲滅などの廃棄物適正処理推進 ・野外活動など体験活動の実施による学習・啓発 ・地域における廃品回収などのボランティア活動等の実施		
2	青少年団体連絡協議会	・環境を考慮して環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入する。	・電気のコマメな消灯、エアコンの設定温度、クールビズやウォームビズなど	・裏紙・両面印刷の利用による用紙削減やペーパーレス化 ・マイバッグ、マイボトルの持参などの廃棄物発生抑制 ・資源物の回収など資源リサイクルの促進		・ごみの分別徹底など廃棄物の適正処理
3	青少年育成県民会議	・グリーン購入の実施や推奨 ・裏紙、両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減・ペーパーレス化の推進 ・電気のコマメな消灯、エアコンの設定温度、クールビズやウォームビズなど省エネのソフト対策 ・省エネ家電や省エネ設備・機器の導入やその補助など、省エネのハード対策	・公共交通機関や自転車等の利用促進 ・県が実施する「エコファミリー」、「エコ事業所」への登録	・マイバック、マイボトルの持参や過剰包装の削減などの廃棄物発生抑制 ・リサイクル製品の優先利用や資源物の回収などのリサイクル促進 ・ごみの分別徹底やポイ捨て撲滅の取組などの廃棄物適正処理推進		
4	地域婦人会連絡協議会	・会員に対し、環境への負荷が少ない製品を選んで購入するよう周知する。	・会員に対し、省資源、省エネルギー運動への取組を促す。	・会員に対し、リサイクル運動の推進を促す。		・会員に対し、自然共生に関する学習会や講演会への参加を促す。
5	老人クラブ連合会		・公共交通機関の利用促進	・裏紙利用の徹底 ・ごみ分別の徹底		
6	保育協会				・福岡県が作成したワンヘルス絵本「みんなつながっている」を使用し、園児への読み聞かせを通じて幼児へのワンヘルス教育に取り組む。	
7	私学協会		・電気をこまめに消す。 ・クールビズなど日常レベルの省エネルギー対策に関する取組	・裏紙・両面印刷の利用による用紙削減の取組 ・ごみの分別徹底など廃棄物の適正処理に関する取組		・環境美化活動に関する取組
8	連合福岡	・「福岡の森の木になる紙」の使用	・2年に1度、環境フォーラムを実施	・裏紙・両面印刷の利用と古紙のリサイクル ・マイバッグの活用 ・フードバンク支援やドギーバッグの活用による食品ロス削減	・連合福岡の森（北九州市小倉南区）の保全	・ごみの分別徹底など、廃棄物の適正処理 ・環境美化活動（クリーンキャンペーン）
9	生活協同組合連合会	・方針等は策定していないが、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ない（再生紙の使用など）ものを選んで購入するなどの取組を行っている。 ・主な機関会議でのiPadを活用、会議資料の削減。全事業所での裏紙再利用、2in1縮小での両面印刷での用紙削減に取り組んでいる。	・施設内の節電対応、照明のLED化（全事業所、店舗）、再生可能エネルギー（太陽光パネル）の導入 ・組合員による脱原発学習会の開催と参加、市民電力発電所の視察 ・アイドリング・ストップなどエコドライブの推進（グリーンコープが進めているフードマイレージの取組の広報活動） ・フードマイレージ（CO2削減をポコ（poco）という単位で表示） ・電気自動車の配置 ・環境家計簿に取り組むことにより脱プラスチック、省エネを進める。 ・グリーンコープでは、2027年までに事業で排出する温室効果ガスをゼロにする取組を強化	・せっけん利用をすすめる取組（「しゃぼん玉月間」など通年課題） ・4R運動の取組（「びんリユース」「トレーtoトレーのリサイクル」「仕分け袋の回収（袋to袋）」「たまごモールドバックから段ボールへ」「カタログ、チラシ類の回収」） ・上記学習と広報活動（グリーンコープの4R事業の関連メーカーへの視察、上記のことを通して、グリーンコープが進めている4R事業の推進） ・県、行政機関と連動した店舗での「マイバック持参運動」の取組 ・ファイバーリサイクル（古着・古布）の回収呼びかけとショップ展開 ・iPadを活用した会議資料（印刷）の削減と裏紙、両面印刷の利用による用紙削減の取組	・脱原発社会を目指して市民電力事業の推進としての広報活動。多くの組合員に「グリーン電力出資金」への呼びかけを行った。 ・脱原発学習会の開催・市民電力発電所の視察 ・遺伝子組み換え自生ナタネ汚染調査活動の取組（福岡県内） ・遺伝子組み換え自生ナタネ抜き取り活動（箱崎埠頭） ・遺伝子組み換え自生ナタネに関して行政やメーカーの訪問	・「水環境保全に対するせっけん使用運動」は、年間を通して実施している。 ・機関紙や支部ニュースでの広報活動。せっけんメーカーを講師に学習会の開催。 ・「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージの寄稿を各行政の首長に願う取組 ・土壌環境の調査（放射能汚染）について継続的監視活動 ・BMW技術の生活への活用
10	社会福祉協議会	・環境に考慮して、環境への負担ができるだけ少ないものを選んで購入	・昼休みにおける執務室の消灯 ・エアコンの温度設定 ・クールビズ、ウォームビズの実施	・裏紙・両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減やペーパーレス化 ・詰替え商品の優先利用などリユースの促進 ・資源物の回収など資源リサイクルの促進		・ごみの分別徹底など廃棄物の適正処理
11	地区衛生連合会		・地球温暖化対策に関する学習会の開催や講演会の参加などの啓発活動（指導者等研修会開催：7月、大会における特別講演実施：11月）	・事業所周辺や公園・河川・海岸の環境美化活動などの開催や参加（河川浄化運動強調月間（前期）：6月、（後期）：9月、空きかん散乱防止強化月間：8月） ・3Rに関する学習会の開催や講演会への参加などの啓発活動 ・食品ロス削減の推進（指導者等研修会開催：7月、大会における特別講演実施：11月） ・小学生を対象にした「ふるさと川や海絵画コンクール」の実施		・生活排水対策や河川・海岸の美化など水環境の保全に関する取組（河川浄化運動強調月間（前期）：6月、（後期）：9月、空きかん散乱防止強化月間：8月） ・快適な生活環境の確保に関する学習会の開催や講演会への参加などの啓発活動（指導者等研修会開催：7月、大会における特別講演実施：11月） ・小学生を対象にした「ふるさと川や海絵画コンクール」の実施
12	日本野鳥の会福岡支部				・干潟の清掃活動 ・県民を対象に探鳥会を推進する。生き物を大切にすることを呼びかける。 ・自然共生に関する啓発活動	・海岸の美化などのための清掃に参加する
13	はかた夢松原の会			・ペットボトルのキャップ回収 ・アルミ缶のプルトップ回収	・持続可能な自然環境の保育・保全の取組 - 松原の保育・保全と植樹活動 - 海岸の清掃活動 - 博多湾の環境浄化活動 - 筑後川流域連携活動	・安心・安全な道路空間と道路景観の取組 - 国体道路花いっぱい運動
14	ふくおか環境カウンセラー協会		・うちエコ診断の実施	・海岸清掃 ・食品ロス削減推進 ・サポーターの育成、講演活動	・ビオトープづくり	・河川、海浜のごみ拾いなどの環境美化活動

団体名		令和8年度に取組予定又は呼びかけ予定の活動や事業				
		グリーン化	脱炭素社会	循環型社会	自然共生・ワンヘルス	快適生活環境の形成
15	商工会議所連合会	・諸事業の周知協力 ・eco検定事業	・諸事業の周知協力 ・eco検定事業 ・グリーン成長戦略研究委員会事業	・諸事業の周知協力 ・eco検定事業 ・プラスチック資源循環の促進 ・「容器リサイクル法」に基づく再商品化契約業務	・諸事業の周知協力 ・eco検定事業	・諸事業の周知協力 ・eco検定事業
16	中小企業団体中央会	・両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減 ・電気のコマメな消灯、エアコンの設定温度、クールビズなどの省エネのソフト対策		・リサイクル製品の優先利用		
17	商工会連合会		・事業所内でのコマメな消灯 ・室温調整（夏26℃、冬20℃推奨） ・クールビズの推奨（5月1日～10月31日）	・事業所内で使用するコピー用紙の裏面使用や両面・割付印刷の利用による用紙削減の取組 ・リサイクルトナーの利用 ・ごみの分別徹底など廃棄物の適正処理		・商工会青年部・女性部による地域清掃活動
18	九州経済連合会	・名刺作成時に間伐材マーク認定製品を採用 ・消耗品等については極力環境配慮型商品を採用	・地域脱炭素実現に向けた地方公共団体と企業のマッチングイベントの支援 ・環境省との連携による学生の環境意識啓発につながるセミナーの実施	サーキュラーエコノミーの推進に向けた企業間の連携促進、および先進事例の共有など	ネイチャーポジティブの認知度向上に向けたシンポジウムやイベント等の開催	
19	福岡経済同友会					
20	スーパーマーケット協会連合会		・商品の過剰包装の撲滅運動及び配送効率のアップに向けた取り組みを行い、トラックの配送回数の削減等を目指し排出ガスの削減を関連団体と取り組む。	・商品の過剰包装の撲滅運動を関連団体と一体になって推進、資源の無駄をなくし、PB商品だけでなく、NBメーカー様にも提案し取り組みを拡大強化する。 ・食品ロス削減を目指し科学的な根拠に基づいた、賞味期限の延長運動を関連団体と実施し、メーカーへの働きかけと会員企業へ協力を依頼する		・災害対策の一環を兼ねて、科学的根拠に基づいた賞味期限延長をメーカーへ提案、店舗では災害に備える商品在庫の一定数量の確保を依頼。当該商品については、ローリングストックとしてお客様へも家庭内在庫の必要性を啓蒙し、会員企業へ協力をお願いする。
21	バス協会	・裏紙、両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減やペーパーレス化の推進 ・電気のコマメな消灯、エアコンの設定温度、クールビズやウォームビズなど省エネのソフト対策	・公共交通機関や自転車等の利用促進 ・再生可能エネルギーの導入や利用の促進 ・県が実施する「エコファミリー」「エコ事業所」への登録 ・地球温暖化対策に関する学習会の開催や講演会への参加などの啓発活動	・マイバッグ・マイボトルの持参や過剰包装の削減などの廃棄物発生抑制 ・3Rに関する学習会の開催や講演会への参加などの啓発活動		・排ガスの浄化やエコドライブの推進など大気環境の保全に関する取組
22	トラック協会		・「トラックの森」事業（植樹活動） ・環境対応車（天然ガス・ハイブリッド・電気・環境対応型ディーゼル車）導入促進助成事業 ・EMS（エコドライブ管理システム）用機器導入促進助成事業 ・蓄熱式マット、蓄冷式クーラー等購入助成事業 ・エコタイヤ購入促進助成事業 ・省エネ運転講習会助成事業	・小学生エコ絵画コンクールの実施 ・会議資料や広報物等の電子媒体利用推進に伴うペーパーレス化 ・全日本トラック協会が掲げる「トラック運送業界の環境ビジョン2030」のもと、全ての都道府県トラック協会が「美化月間」「環境月間」を同時期に設定し、業界全体での取り組みを推進する。	・「トラックの森」事業（植樹活動）	・EMS（エコドライブ管理システム）用機器導入促進助成事業 ・省エネ運転講習会助成事業 ・全日本トラック協会が掲げる「トラック運送業界の環境ビジョン2030」のもと、全ての都道府県トラック協会が「エコドライブ推進月間」を同時期に設定し、業界全体での取り組みを推進する。
23	自動車整備振興会	・文具、紙類等の購入時、グリーン購入法の適合状況、エコマーク認定状況等の確認	・照明のコマメな消灯 ・クールビズ	・自動車リサイクル部品の利用促進 ・両面印刷利用の継続	・事業所内の緑地整備	
24	建設業協会					
25	産業資源循環協会	・グリーン購入の実施	・公共交通機関や自転車等の利用促進 ・コマメな消灯、エアコンの温度設定、クールビズ及びウォームビズの推進 ・各会員企業におけるGXに係る取組の推進	・裏紙、両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減・ペーパーレス化の推進 ・環境フェア等でのブース出展		・不法投棄防止啓発パトロール ・不法投棄防止啓発街頭キャンペーン ・ボランティア清掃活動 ・環境教育活動
26	農業協同組合中央会					
27	森林組合連合会	・間伐材を使用している封筒制作、コピー用紙や名刺専用紙の利用促進	・森林組合の活動である、人工林の間伐や高齢級の伐採・再造林 ・県産木材を中心とした木材の利用促進協議会の開催	・戦後いち早く植林したスギやヒノキの人工林を伐って使って植えて育てる森林（もり）の循環利用の促進	・里山林活性化による多面的機能発揮対策を通して、地域の活動組織への助言 ・スギ人工林の伐採と少花粉スギ等への樹種転換 ・原木市場で発生するスギやヒノキなどの樹皮を一般廃棄物として適正に処理し、パーク堆肥等の原料として供給している。	・里山林活性化による多面的機能発揮対策を通して、地域の活動組織への助言 ・スギ人工林の伐採と少花粉スギ等への樹種転換 ・原木市場で発生するスギやヒノキなどの樹皮を一般廃棄物として適正に処理し、パーク堆肥等の原料として供給している。
28	漁業協同組合連合会					

団体名		令和8年度に取組予定又は呼びかけ予定の活動や事業				
		グリーン化	脱炭素社会	循環型社会	自然共生・ワンヘルス	快適生活環境の形成
29	造園協会	・裏紙、両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減やペーパーレス化の推進	・公共交通機関や自転車等の利用促進 ・植栽や枯れ木除去、街路樹の剪定、整備等を通じた大気、水、土環境の保全対策	・マイバッグ・マイボトルの持参や過剰包装の削減などの廃棄物発生抑制	・小学生を対象とした植栽ボランティア等による環境教育 ・自然公園や都市公園、街路樹の整備等を通じた健康づくりの機会を提供	
30	福岡県市長会	・事務用品購入にはグリーン購入を心掛ける	・休憩時間の消灯等、不要な照明は点灯しない ・クールビズの取組や、エアコンの設定温度に注意し節電を心がける ・公共交通機関利用促進	・リサイクルトナーの利用 ・両面印刷の利用、2in1印刷利用など用紙削減の取組 ・ごみ分別の徹底 ・会議開催時の資料を原則「ペーパーレス」にしていく予定	・ワンヘルス推進協議会や講演会への参加 ・地産地消の取組の周知、協力	
31	福岡県町村会	エコマーク認定商品・グリーン購入法適合商品の購入推奨。	電気のこまめな消灯、エアコンの設定温度など省エネのソフト対策。	・再生利用が可能なビン、缶、ペットボトル、古紙等の分別徹底 ・両面印刷や電子メールの利用により用紙の削減を推進 ・マイバッグやマイボトルの利用		
32	北九州市	・グリーン購入の実施や推奨 ・裏紙、両面印刷、電子媒体の利用による用紙削減やペーパーレス化の推進 ・電気のこまめな消灯、エアコンの設定温度、クールビズやウォームビズなど省エネのソフト対策	・水素社会の実現に向けた取組（水素拠点形成の推進など） ・環境配慮型ライフスタイルへの転換に向けた広報啓発 ・公用車の電動化 ・省エネ、創エネ、蓄エネに関する取組 ・気候変動の影響への適応に関する取組 ・再生可能エネルギーに関する取組 ・北九州市洋上風力キャンプ等の実施 ・次世代太陽電池導入に関する取組 ・再エネを生かした地元企業の脱炭素化・競争力強化事業 ・市内企業に対して産業廃棄物の脱炭素化に向けた取り組みに関するセミナー開催 ・脱炭素に関する取り組みを評価項目に取り入れた新たな認定制度を創設	・プラスチック資源一括回収の実施 ・ボトルtoボトルの推進 ・充電式電池リサイクルの実施 ・廃食油のリサイクル推進	・自然豊かな小倉南区をネイチャーポジティブ推進重点モデル地区と位置付け、平尾台・曽根干潟・お糸池等を活用した啓発を展開する予定。	・事業所周辺や公園・河川・海岸の環境美化活動などの開催や参加
33	福岡市	○グリーン購入の推進 庁内においてグリーン購入の徹底を図るとともに、市民、事業者への周知を行う。 ○庁内で使用する用紙削減やペーパーレス化の推進 ○脱炭素率先行動に全庁的に取り組む 職員に向けてエコスタイルの実施や公共交通機関の利用等を呼びかけ。 ○事業所の省エネ設備導入支援事業 高効率照明設備、高効率空調設備、高機能換気設備の設置助成。 ○事業所の省エネ支援事業 エネルギー管理士等の専門家派遣による省エネ最適化診断等の実施。 ○効果的な省エネ手法などの情報提供等の実施。	<脱炭素社会へのチャレンジ> ○脱炭素に関する総合支援窓口の開設及び企業等への支援 ○次世代自動車普及に向けた支援事業（電気自動車の購入助成等） ○住宅用エネルギーシステム導入推進事業（住宅向け蓄電池設置助成等） ○Eco0チャレンジ応援事業（家庭での省エネ行動推進） ○地域の脱炭素型ライフスタイルサポート事業 環境人材の育成・支援 ○脱炭素建築物誘導支援事業 ビルのZEB化（Ready以上、新築・改修）、集合住宅のZEH-M化（新築）に係る設計費用を補助 ○国産ペロブスカイト太陽電池の普及促進 市内事業者のペロブスカイト太陽電池導入費用の一部を補助 ○事業所の再エネ設備導入支援事業（太陽光発電設備設置助成） ○事業所の省エネ設備導入支援事業（再掲） ○事業所の省エネ支援事業（再掲） ○非化石証書の共同購入事業	○令和9年2月のプラスチック分別収集開始に向け、効率的なリサイクル体制の構築に取り組むとともに、様々な機会や媒体を活用した効果的な広報啓発を実施。 ○フードドライブやフードバンク活動など食品ロス削減に寄与する取組の普及啓発を行い、実践の推進と意識向上を図る。 ○古紙の出しやすい環境づくりのため、地域や回収事業者と連携した新たな古紙回収方式のモデル事業を実施。 ○事業系食品廃棄物の飼料化・堆肥化・メタン化を促進するため、排出事業者へ戸別訪問で支援策を周知。 ○事業系一般廃棄物の資源化に関する技術開発等の研究を行う事業者への支援。 ○ごみ収集車両や処理施設の火災防止等のため、モバイルバッテリー等の小型充電式電池や使用済小型電子機器の回収拠点を拡大。	○生物多様性の損失を止め回復させる「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の実現に向け、市民、事業者など多様な主体が連携して行動につなげるための取組みを推進。 （生物多様性ふくおかセンターの運営／自然共生サイト登録に向けた取組み／地域において自然の大切さを伝えていく人材（ふくおかレンジャー）育成／自然の恵み体験活動／里海保全再生活動／生物多様性に関する啓発／外来種に関する防除・啓発／干潟生物調査／企業・NPO等の連携強化 など）	①黄砂、PM2.5に関する情報提供 ②公共用水域への油等流出に関する対応や市民啓発を実施。 ③熱中症対策として、暑さ指数の予測情報に基づく熱中症特別警戒アラートの発信等の注意喚起を行うとともに、「クールシェアふくおか」の実施や様々な機会を捉えた予防行動の啓発等を実施。
34	福岡県教育委員会	・環境への負担ができるだけ少ないものを選んで購入する予定	・電気のこまめな消灯 ・エアコンの温度設定 ・クールビズやウォームビズの実施	・食品ロス削減 ・ごみの分別の徹底	・自然観察や地産地消など自然の恵みや生物多様性の重要性を認識する取り組み ・間伐材や間伐材製品の利用など環境に配慮して作られた商品の利用促進 ・リサイクル可能な素材を使用した製品を選択して購入	・ごみの分別徹底など廃棄物の適正処理 ・所内のレイアウト等の工夫
35	福岡県	・エコ事業所やエコファミリーにおける省エネルギー・省資源の取組の推進 ・グリーンアジア国際戦略総合特区における環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築 ・福岡県水素グリーン成長戦略の推進 ・環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進（グリーン購入） ・「福岡県リサイクル製品認定制度」を創設し、その利用を促進 ・庁内で使用する用紙削減やペーパーレス化の推進	・再生可能エネルギーの導入促進 ・共同購入による家庭・企業の太陽光発電設備等の導入促進 ・県地球温暖化防止活動推進センターや県地球温暖化防止活動推進員による地域における省エネルギー・省資源の普及啓発 ・福岡未来づくり住宅の普及促進等による住宅・建築物の省エネルギー対策の促進 ・県有施設への太陽光発電設備導入や県公用車への電動車導入による県の率先取組等	・3R啓発等による廃棄物減量化の促進 ・県リサイクル総合研究事業化センターにおける産学官民による共同研究 ・食品ロス削減、プラスチック資源循環の促進 ・廃棄物の適正処理のための普及啓発や監視・指導 ・ICTを活用した産業廃棄物処理施設等監視指導の強化等	・英彦山・犬ヶ岳における生態系の回復と絶滅危惧植物の保護 ・福岡県アライグマ防除実施計画に基づくアライグマ捕獲の推進 ・希少野生動物植物に係る基礎調査の実施 ・人・動物・環境の各分野に関する一体的な試験・検査、調査・研究の実施やワンヘルスの普及・啓発を行うワンヘルスセンターの整備等	・大気環境状況の把握、大気汚染物質高濃度予測情報の配信 ・アスベスト飛散防止対策に係る監視指導 ・公共用水域や地下水の水質汚濁状況の監視 ・有害物質使用・貯蔵事業場情報の集約と共有等
		<R8> ・洋上風力発電の運転・維持管理技術者の育成を支援 ・響灘沖一般海域への洋上風力発電導入に向けた対象区域周辺における船舶実態調査や船舶・漁業関係者との合意のための調整を実施	<R8> ・地域共創による脱炭素地域づくりの推進 ・県内中小企業の脱炭素化とエネルギーコスト削減を推進するための再エネ・省エネ設備導入支援、脱炭素経営の参考となる優良事例集の制作 ・熱中症による健康被害を予防するための情報発信の強化 ・県有施設へのペロブスカイト導入可能性調査	<R8> A Iを活用した不法投棄監視システムの開発 （R9～企業等と連携したパトロールを実施） E Vバッテリーのリユース・リサイクルできる資源循環モデルを構築、市町村におけるプラスチック分別収集・再資源化支援、海岸漂着ごみ・クリーンアップ大作戦	<R8> ・環境保全団体の継続的な活動を支援するための事業者の掘り起こし・マッチングを実施	<R8> ・大気汚染状況の把握、大気汚染予測情報の発信 ・アスベスト飛散防止対策に係る監視指導 ・公共用水域や地下水の水質汚濁状況の監視 ・有害物質使用・貯蔵事業場情報の集約と共有等